

地域の調和と防災機能を有する施設を計画することで、地域の核として憩いと賑わいを創出し、魅力ある街づくりに寄与する施設とします。

本事業に関する基本方針

スポーツを「する」だけでなく、素晴らしいプレーを「観る」ことで、スポーツの経験を通して心豊かな人を「つくる/はぐくむ」、人と人が「つながる/交流」を創出します。

施設の全体計画について

ユニバーサルデザインに配慮した配置計画と動線計画

- 障害のある方や高齢者などの誰もがスポーツを楽しめるように、施設全体が多様な方々を迎え入れる、ユニバーサルデザインとします。
- みやきキッズパークからの動線を意識した管理棟を計画し、公園利用者にも開かれた管理棟を整備します。

安全対策・災害対策などの周辺環境への配慮

- 工事区域は防塵防砂ネットと高さ2.0m程度の防音設備（シート等）で立ち入り禁止措置を施します。
- キュービクルや管理棟の一部を1m程度嵩上げすることで、豪雨などによる浸水と冠水を防ぎます。

維持管理及び大規模修繕費用の縮減

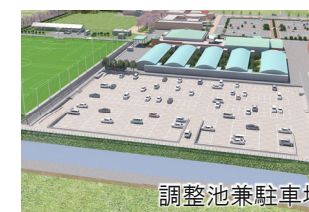
- ルーバー内蔵式LED投光器を採用することで、外圧による投光器の破損を抑制します。
- 暗渠排水施設による表面排水の低減と外周排水施設の設置により、敷地外への充填材等の流出を抑制して維持管理作業を容易にします。

施設計画等の提案において、特に強調する事項

- 駐車場は、乗用車や大型バスで県内外から多くの方が訪れる際も、十分なキャパシティをもって迎え入れられる施設とします。



管理棟・メイングラウンド



調整池兼駐車場

多目的グラウンド(メイングラウンド・サブグラウンド)について

多機能用途・交流機能に対応したグラウンド計画

- 管理棟をみやきキッズパーク側に配置することで、公園来訪者も管理棟を利用しやすくしています。
- 敷地東側に通路を配置することで、メイングラウンドとサブグラウンド利用者のスムーズな移動を実現します。
- メイングラウンドは、身体へのダメージを軽減するクッション性を有し、ラグビーやアメリカンフットボールなどの多様なスポーツに対応できるロングパイル人工芝を選定します。



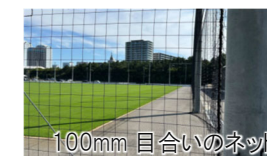
全体計画

施設利用者の機能性と利便性を確保した付帯設備計画

- メイングラウンドの人工芝は、マイクロプラスチックとして場外に流出しにくい製品を選定し、外周側溝に破断した芝葉や充填材を集める、専用のフィルターを設置します。
- ルーバー内蔵式LED投光器により場外への漏れ光を減らすことで、多目的グラウンドの周辺エリアの照度が10lx程度となるようにします。
- 100mm目合いのネットを採用することで充実率を8%から4%に減少し、台風等による風の影響を大幅に低減します。



フィルター



100mm目合いのネット

管理棟について

多機能用途・交流機能に対応した管理棟計画

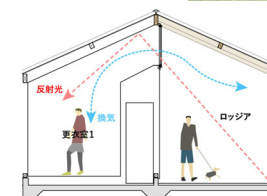
- みやきキッズパーク側にはテラス、多目的グラウンド側には広い軒下空間を配置し、両側から一体的に繋がる空間構成とし、両側から気軽にアクセスでき、利用しやすくします。
- グラウンドと公園のどちらからも視認できる位置にシェアキッチンを配置します。



管理棟

施設利用者の機能性と充実性を確保した設備及び備品計画

- 障害者利用が想定される多機能トイレは視認性の高い場所に配置し、段差のないスムーズな入室ができる計画とします。
- 更衣室のプライバシーを考慮し、高窓からの採光と換気をおこない、外からは完全に視線をカットしつつ柔らかい光や新鮮な空気を取り込むことができます。



採光・換気イメージ

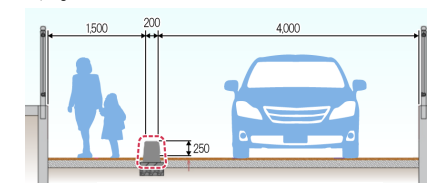
調整池兼駐車場について

貯水・排水・復旧の機能を有した調整池

- 計画地の調整池としては十分な貯水能力を有しますが、計画に当たっては関連機関や設定区域との協議を行い、調整池の必要量を再設定します。
- 排水調整樹に集水した水は、メイングラウンドと駐車場の間の水路に排水します。
- 増水等で調整池内に大量の水が貯水し、自然流下での排水に時間がかかる場合は、排水ポンプや排水ポンプ車によって排水します。

付帯設備を充実させて機能性と安全性を確保した駐車場

- 駐車場スロープに歩車道境界ブロックを設置して歩行者動線を分けます。
- 東側通路の前川沿いに車両用防護柵を設置して安全性を確保します。



歩車道境界ブロックの設置

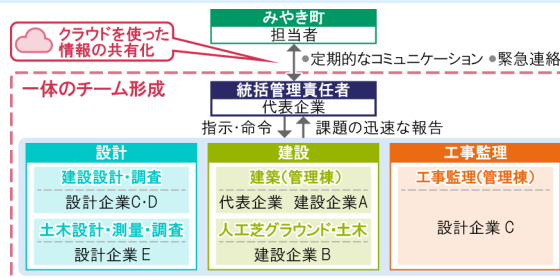
事業計画(基本方針・実施体制等)について

事業実施体制

- 建設企業Aは管理棟を建築するだけでなく、代表企業として町への報告及びグループをまとめる役割を果たします。
- 建設企業Bは、多数の同種案件実績を有しており、本事業では多目的人工芝グラウンドや土木・外構工事を行ないます。
- 設計企業C・D・Eは設計企業として、利用者目線で使いやすい施設、地域と調和する設計を行います。

令和7年9月に工事を完了する工程計画

- 土木設計業務は事業者決定後に速やかに開始し、土木工事を令和6年9月から着手します。
- 建築設計業務は令和6年3月の基本協定締結後に開始し、建築工事を令和7年2月から着手します。



事業実施体制図

年月	R5.10月	R5.11月	R5.12月	R6.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
設計業務	優先交渉権者決定				基本協定締結	仮契約										本契約(設計・建設期間)									
調査・測量					敷地測量	地盤調査																			
土木設計				概略設計	基本設計	実施設計																			
建築設計				概略設計	基本設計	実施設計																			
建設業務								各種申請	仮設工																
準備工																									
調整池兼駐車場、他外構部分																									
メイングラウンド																									
サブグラウンド																									
管理棟																									

事業の安定性、リスク管理

- 各業務のリスク管理者が参加する「リスクマネジメント委員会」を設立します。
- リスクマネジメント委員会とは別に、みやき町との関係者協議会、運営予定者との情報共有の場において、随時リスクの確認とリスクの顕在化を未然に防止します。

地場企業が実現する地域主体の施設整備

- 建設企業Aは、町内に本社を置く創業58年の総合建設企業で、地元と共に育つ施設づくり、地域の想いと土地が折り合うものづくりを実現してきました。
- 建設資材や工事関係者の日用品などは、町内業者への発注を優先し、工事業者は町内業者に積極的に協力を仰ぐことで、地元一体となって事業を進めます。

スポーツ施設の整備による、周辺施設との一体化

- 各施設と連携してにぎわい創出が期待できるようなスポーツ施設を整備し、周辺に点在する公園や児童施設、コミュニティ施設等と共に一つの輪を形成します。
- なでしこリーグで活躍するチームが練習や試合をおこなう施設として、町内外の多くの人が訪問する新たな結節点となり、みやき町の魅力向上に繋がります。

